

令和4年度 市川市立宮久保小学校

学校運営協議会だより

第3号

令和5年 2月27日(月)発行 市川市立宮久保小学校学校運営協議会

第3回学校運営協議会が開催されました

2月22日(水)に第3回の学校運営協議会を実施いたしました。前回授業の様子を参観いただきましたが、今回は行事の様子(6年生を送る会)を参観していただきました。今回の協議会の内容は以下のとおりです。



- (1) 学校関係者評価について
- (2) 「6年生を送る会」参観
- (3) 令和5年度学校運営方針について
- (4) 報告及び意見交換
- (5) その他

当日は、10名の委員の方が参加しました。保護者の学校評価、教職員の学校自己評価を説明しました。保護者の学校評価「信頼される学校の取組」は全て前年度よりも上昇しているものの、市川市全体や教職員の自己評価よりも低いことを説明しました。この差異を埋めるために、教職員からの細やかな連絡や連携が必要となってくることも次年度の課題として報告しました。今年度の取組として、前回第2回以降の学校の教育活動を外部との連携を中心に、映像を入れて紹介しました。

- ・6年生千葉県のス쿨ローヤーさんを活用した取組
- ・4・6年生で彫刻刀を扱うにあたって、安全に丁寧に仕上げるための外部人材の活用。
- ・5年生時間効率も踏まえたオンラインでの工場見学。
- ・3年生社会科における地域の神社訪問による伝統の継承
- ・ペア学年や他学年との交流

等

後期もコロナ禍以前の活動を取り戻している様子を中心に紹介しました。また、コロナ禍以前の活動を取り戻している様子として、6年生を送る会を参観いただきました。体育館に3学年が集まっている様子や子供たちの実際の発表をご覧いただき、「やはり、みんなが集まって活動しているのが学校本来のあるべき姿ですね」という感想もいただきました。

報告及び意見交換では、以下のような意見交換がされました。

- ・様々な児童がいる中で、コロナ禍以前の取組を戻していることが、学校ホームページや学校だよりで、他校よりも随時紹介されていることがよくわかる。
- ・地域の中で、子供たちが元気いっぱい遊ぶ場(公園)がないので、道路で遊んだり、自転車で移動したりしての交通事故が懸念される。
- ・GW明けにコロナ感染症が2類→5類に引き下げられることで、多くの教育活動が制限なしに、実施できる見込みである。地域や自治会等を巻き込み、活動をしていただきたい。地域としては、子どもたちとの関わりを増やしていきたい。
- ・PTAも次年度は、地域・自治会の方を招いて、ふれあいフェスタや防災フェスタなどを開催し、学校と地域をつなぐ一助となるような活動をしていく。



6年生を送る会